

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

1. 事業の概要

本会の基本理念である「お互いさまと言えるあたたかいまちづくり」を目標として事業に取り組んだ。地域全体で支えあう「社会福祉の実現」を目指し、住民が住みなれた家庭や地域社会で心豊かに生活できるよう、住民主体を旨とした地域福祉・在宅福祉の充実に努めた。

2. 社会福祉協議会会務の運営

【1】役員会（理事会・監事会）の開催

(1) 理事会

第1回理事会：平成30年5月28日（月）10：00～

議事

- ・平成29年度事業報告
- ・平成29年度決算
- ・評議員選任候補者の推薦
- ・平成30年度定時評議員会の開催

報告事項

- ・会長専決事項の報告（平成29年度補正予算 第7回）
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第2回理事会：平成31年3月20日（水）10：00～

議事

- ・本所事務所の移転について
- ・会員規程の一部を改正する規程
- ・経理規程の一部を改正する規程
- ・平成30年度補正予算（第3回）
- ・平成31年度事業計画
- ・平成31年度当初予算
- ・平成30年度第2回評議員会の開催

報告事項

- ・会長専決事項の報告（職員の再任用に関する規程の一部を改正する規程）
- ・会長専決事項の報告（平成30年度補正予算 第1回）
- ・会長専決事項の報告（平成30年度補正予算 第2回）
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

(2) 監事会

第1回監事会：平成30年5月15日（火）10：00～16：00

監査事項

- ・平成29年度武雄市社会福祉協議会会計の諸表

第2回監事会：平成30年10月30日（火）10：00～16：00

監査事項

- ・平成30年度武雄市社会福祉協議会上半期会計の諸表

【2】評議員会の開催

定時評議員会：平成30年6月12日（火）10：00～

議事

- ・平成29年度事業報告及び決算
- ・理事の選任

報告事項

- ・会長専決事項の報告（平成29年度補正予算 第7回）

第2回評議員会：平成31年3月28日（木）10：00～

議事

- ・本所事務所の移転について
- ・平成30年度補正予算（第3回）
- ・平成31年度事業計画及び平成31年度当初予算報告事項
- ・会長専決事項の報告（平成30年度補正予算第1回）
- ・会長専決事項の報告（平成30年度補正予算第2回）

【3】評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任・解任委員会：平成30年6月1日（金）10：00～

議事

- ・評議員の選任

【4】社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、区長会並びに民生委員児童委員協議会のご協力を得て会員の加入に取り組んだ。

	会員数	納入額（円）
一般会費（1口 400円）	14,301	5,717,501
賛助会費（1口 1,000円）	993	1,098,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	6	40,000
計	15,300 (前年度：15,400)	6,855,501 (前年度：6,910,800)

【5】社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を計6回（奇数月）発行し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

3. 老人福祉センター事業

①老人福祉センター「日輪荘」（市補助事業）

②老人福祉センター「長寿園」（市補助事業）

③老人福祉センター「さざんか荘」（市受託事業）

送迎バスを定期運行し利用者の便を図った。また、健康相談、民謡教室、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開き、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。

生涯学習の一環として、武雄市の出前講座制度を活用し計78回の講座を実施した。センターの利用者数は、次のとおりである。

①日輪荘

H30 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
993	991	974	963	885	878	980
11月	12月	H31 1月	2月	3月	計	
1,026	935	907	942	1,030	11,504 (前年度：10,754人)	
一日あたりの平均利用者数（年間開館日数：239日）					48.1人	

②長寿園

H30 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
549	487	469	483	438	493	639
11月	12月	H31 1月	2月	3月	計	
545	518	595	499	518	6,233人 (前年度：6,358人)	
一日あたりの平均利用者数 (年間開館日数：239日)					26.1人	

③さざんか荘

H30 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
293	298	308	310	281	255	280
11月	12月	H31 1月	2月	3月	計	
311	270	271	278	280	3,435人 (前年度：3,482人)	
一日あたりの平均利用者数 (年間開館日数：239日)					14.4人	

武雄市からの補助金により、施設の一部改修を行った。主な内容は次のとおりである。

- ・日輪荘：新トイレ棟の増築、既設トイレの改修、玄関の屋根の増築、玄関スロープの新設、自転車置場の新設
- ・長寿園：新トイレ室の増築、既設トイレの改修、防寒対策として地下廊下やデイサービス室の断熱工事、空調機器の設置、及び玄関付近の塗装工事

また、武雄市が行った「たっしゅか商品券」の取扱加盟店となり、利用料として使いやすくするために市と協議して100円利用券を発行し、老人福祉センターやデイサービスの利用促進につながった。

4. 生きがい対応型デイサービス事業 (市受託事業)

- ①デイサービスセンター武雄「湯遊くらぶ」
- ②デイサービスセンター山内「ふれあい」
- ③デイサービスセンター北方「やわらぎ」

介護保険の認定で自立と判定された高齢者で、支援を必要とする方への介護予防事業として、「生きがい対応型デイサービス事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおりである。

①湯遊くらぶ (武雄)

	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
H30年4月	77	28	72	42	99	18	17	353
5月	84	37	75	46	86	12	15	355
6月	82	29	71	36	97	17	12	344
7月	83	22	64	31	95	16	12	323
8月	80	29	48	31	104	10	8	310
9月	78	27	68	32	95	9	7	316
10月	116	27	91	32	103	7	7	383
11月	87	25	62	35	123	14	17	363
12月	93	24	67	33	94	10	7	328
H31年1月	92	26	68	31	90	10	7	324
2月	89	28	69	33	95	9	7	330
3月	89	25	70	35	78	19	16	332

合 計	1,050	327	825	417	1,159	151	132	4,061 前年度 (4,001)
一日あたりの平均利用者数 (年間開館日数 : 239 日)								17.0 人

②ふれあい (山内)

H30年4月	90
5月	92
6月	96
7月	97
8月	88
9月	88
10月	98
11月	95
12月	94
H31年1月	83
2月	87
3月	96
合 計	1,104 (前年度 : 1,039)
一日あたりの 平均利用者数 (年間会館日 数 : 239 日)	4.6 人

③やわらぎ (北方)

H30年4月	96
5月	100
6月	104
7月	98
8月	93
9月	88
10月	110
11月	98
12月	92
H31年1月	92
2月	86
3月	88
合 計	1,145 (前年度 : 1,100)
一日あたりの 平均利用者数 (年間会館日 数 : 239 日)	4.8 人

5. 生活支援事業

【1】弁護士相談

市民のあらゆる相談に対応する目的で、佐賀県弁護士会の協力を得て、無料相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本 所 毎月第2木曜日 13:00 ~ 16:00 (年12回)
 武雄市北方支所 南棟3階会議室
 武雄市社会福祉協議会本所1階相談室
 山内支所 毎月第4木曜日 13:00 ~ 16:00 (年12回)
 武雄市社会福祉協議会山内支所1階相談室

【2】遺言・相続相談

遺言及び相続に関する相談を専門的に対応する目的により、佐賀県行政書士会の協力を得て、無料相談を計12回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本 所 偶数月第3木曜日 13:00 ~ 17:00 (年6回)
 山内支所 奇数月第3木曜日 13:00 ~ 17:00 (年6回)

また、社協事務局でも各種相談を受け付けており、弁護士相談、遺言・相続相談も含めた一年間の相談受付件数は次のとおりである。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	ひとり親	苦情	その他	合計
件数	93	0	2	5	1	0	10	3	7	46	3	12	4	0	0	0	0	1	11	198

【3】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービス利用の手続きなどの支援を行った。平成30年度末 援助契約数27件（内新規6件、解約5件 前年度比1件増）、相談支援件数延1,421件（前年度比56件増）の実績であった。

【4】つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的に緊急な少額のつなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。平成30年度の貸付件数は51件（前年度比6件増）であった。

また、平成30年度はつなぎ生活費貸付金償還不能欠損処理要綱第3条の項目において、第3条第1項に該当するもの1名、24,000円、第3条第2項に該当するもの1名、25,000円、合計49,000円の償還不能欠損処理をおこなった。

【5】県社協生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託により、低所得世帯や身体障がい者世帯の自立更正を図ることを目的に資金貸付事務を行った。平成30年度の相談件数は30件（前年度比13件増）、貸付件数は2件（前年度比1件増）であった。

【6】家屋内ごみ片付け支援事業

経済的、身体的、精神的な理由で、地域から孤立し、自力による家屋内のごみ処理が困難なため、生活環境が劣悪化し、健康への悪影響を及ぼしている世帯に、ごみ片付け支援を行う地区社協に対し、交付金を交付する。平成30年度相談は2件受付けたが実際の支援件数は0件（前年度0件）であった。

【7】生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・家計相談支援事業）

武雄市の委託事業で、生活困窮者を対象に自立した生活に向け、関係機関と連携し相談業務を実施している。平成30年度は、相談者数105名、支援申込件数26件（前年比12件減）、プラン作成件数23件（前年比10件増：内訳は自立18件、家計5件）であった。

【8】緊急生活支援

現物支給等による生活維持・緊急生活支援を7名に行った。内訳は食糧支援1件、ライフライン支援6件、移動支援0件、その他の支援0件であった。

非常食として、粥46食、ビスコ16袋を支援した。

いのちをつなぐ糧事業では個人及び団体から51回、玄米、弁当、乾麺、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等のご寄附を頂き、延べ159回食料を支援した。

6. 地域福祉活動事業

【1】地域福祉活動計画の推進

平成30年度から平成31年度版の年次計画に基づき実施目標を立てて事業に取り組み、評価と課題について協議を行い計画の推進に努めた。

【2】地区社協活動の支援

① 地区社協活動費の交付

地域住民の要望を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動を行い、住民の福祉の増進を図るため、総額4,483,000円の地区社協活動費を交付し支援に努めた。

② 小地域ネットワークの形成

地域に住む援助の必要な方々を中心に、周囲の人々が助け合い支え合って生活できるよう地区社協を核とし、各地区サロンの集まりの際、支えあいマップづくりをおこなった。そこで、ご近所さん同士の見守り、見守られ活動の大切さを学んでもらった。

③ ふれあいいいきサロン設置

高齢者の方々を対象に、地域の人々が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの設置に努めた。また、各地区社協が主催するサロンの集いにサロンの運営に関する情報を提供した。

サロン設置件数124件（内新規8件、解散1件）3月末現在（前年比7件増）

【3】関係団体（各種福祉団体）への活動支援事業

① 各種福祉団体等運営費助成事業

市内で活動する福祉団体の育成を図るために、市身体障害者福祉協会他8団体に対し総額2,581,650円の助成金を交付した。

【4】地域福祉活動事業の実施

① 介護者支援事業

高齢化社会に伴い増加している在宅介護について、地域の方々が介護に関心を持ち在宅で介護する上での知識を習得することにより、地域での在宅介護者とのかわりの中で、支援や助言に役立ててもらうことを目的として、地域のキーパンソンとなる地区社協会員の方と民生委員児童委員の方を対象に地域福祉を考える会を開催した。

さらに日頃の介護疲れを癒して、共通する悩みを共感できる仲間と話せる機会を作ることを目的として、介護者カフェを開催し、前年度より会場を変更し武雄市図書館にて実施した。

・地域福祉を考える会

期 日 平成31年3月4日（月） 10:00～11:30

会 場 武雄市文化会館 中集会室

内 容 「災害から地域を守るボランティア」

対象者 武雄市ボランティア連絡協議会会員、民生委員・児童委員

参加者 33名

・介護者カフェ

期 日 平成30年4月～31年3月（8月除く）・毎月 第3水曜日 14時～15時

会 場 武雄市図書館 共有スペース

参加者 28名（年間）（前年度16名）

② 共生型ふれあい交流事業

様々な人と交流を深め、障がい者への理解促進を図り、障がいを持つ方やその保護者に、

人と接する喜びを感じてもらうことを目的としている。また、レクリエーションのサポーターとして地域のボランティアや学生など参加協力をお願いし、ボランティアの育成を図った。

期 日 平成30年7月1日(日) 9:30~11:30
場 所 白岩体育館
内 容 講師森恵美氏によるレクリエーションとニュースポーツ体験
参加者 55名

- ③ 新入学児童「黄色い帽子」贈呈事業
市内小学校の新入学児童の交通安全と地域住民の見守りによる防犯を目的に、地域の方々のお祝いメッセージカードを添えて総数440個の黄色い帽子を贈呈した。
- ④ 移送サービス・移送車貸出事業
公共の交通機関を利用した外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、移送車(車イス搬送仕様自動車)を利用した移送サービスおよび移送車の貸し出しを行った。移送サービスの際の運転は、職員や運転ボランティアが行い、平成30年度末の登録人数は12件(前年度比3減)で、利用件数は、移送サービスが117件(前年度13件減)であった。
- ⑤ 「お互いさま活動」支援事業
地域の方々を交えて行う福祉のまちづくりを目的とした団体・グループの事業に対し助成を行う事業で、上限を10万円とし、申請のあった4団体(前年度と同数)に対し総額389,000円(前年度比:6,922円減)の助成金を交付した。
- ⑥ 福祉用具等再利用支援事業
福祉用具等を譲りたい、譲って欲しい人を登録してもらい、双方に斡旋することで資源の有効活用と日常生活の利便性の向上を図ることを目的として実施した。
譲りたい10件、譲ってほしい9件の登録があり、交渉成立は4件であった。
- ⑦ 福祉教育の推進と体験学習指導
市内小・中・高校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めると共に、総合学習の一環として依頼があった市内小中学校へ出向き、「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車イス体験」等について指導し、福祉に対する理解を促した。9件行った。
- ⑧ 市内最高齢者記念品贈呈
敬老の日にあわせて長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

【5】ボランティア事業

(1) ボランティア活動支援事業

① ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、15校に対しボランティア協力校として、活動費総額710,000円(前年度比50,000円増)を助成し育成に努めた。

(小学校) 武雄小、御船が丘小、橘小、朝日小、若木小、武内小、東川登小、
西川登小、山内東小、山内西小、北方小

(中学校) 武雄北中、川登中、山内中

(高等学校) 武雄高

② ボランティア連絡協議会運営費助成事業

武雄市ボランティア連絡協議会へ570,000円を助成し、連携を保つとともに、会員相互・グループ間での交流研さんを積んだ。

③ ボランティアグループ活動費助成事業

市内のボランティアグループで、事業費の申請があった18グループ(22事業)(前年度比1グループ1事業減)に対して総額934,000円(前年度比73,000円減)の助成金を交付した。

④ 障がい児者交流活動事業助成事業

武雄市ボランティア連絡協議会、ボランティア武雄「みふね55会」、手作り遊具の会「あかとんぼ」が実施する障がい児者との交流会・在宅訪問活動・遊具による交流活動に対し113,000円の助成金を交付した。

⑤ ひとり暮らし高齢者 会食・配食助成事業

ひとり暮らし高齢者とのふれあいを目的とした会食会や配食サービスを実施する市内ボランティアグループ等9団体に対し、事業費の助成金、総額809,000円(前年度比11,000円増)を交付した。

(2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動の活性化を図る為に、ボランティアの育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座等を開催し、市民のボランティア意識高揚とボランティア活動の推進をおこなった。

① ボランティアコーディネート(相談・登録・情報提供)の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

② 各種ボランティア講座の開催

地域福祉確立にかかわるボランティアの拡充と資質向上、ボランティアの育成を図ることを目的に、一般住民等を対象とした各種講座を開催した。

◇ 手話講習会

期 日 平成30年7月4日～9月26日(毎週水曜日 全12回開催)

会 場 武雄市文化会館 大集会室A及びB

受講者 6名(内修了証交付4名)(前年度比7名減・交付8名減)

◇ ボランティアスクール

学生を対象とした福祉教育の一環として、また福祉に対する意識の向上を目的として、武雄市ボランティア連絡協議会と共催で開催した。

(小学生対象)

期 日 平成30年7月16日(月)

内 容 カヤック体験・災害炊き出し訓練・アイマスク体験

参加者 15名

(中学生・高校生対象)

期 日 平成30年8月26日(日)

内 容 午前：手話講座と24時間テレビチャリティー街頭募金活動 参加者21名

午後：災害講座と24時間テレビチャリティー街頭募金活動 参加者16名

*24時間テレビチャリティー街頭募金活動のみの参加者33名

③ 市ボランティア連絡協議会への支援・協力

市ボランティア連絡協議会が開催する会議への参加と、各種事業への支援・協力をおこなった。

◇ キッズ・ルーム(学童保育事業)への支援

土曜日の児童の活動の場として、小学校低学年児童(1年生～3年生、一部の地区では全学年)を対象とした「キッズ・ルーム」を実施するボランティアグループへの支援を行った。

◇ ボランティア活動保険の受付

地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付をおこ

なった。

◇ 広報誌の発行支援

④ 傾聴ボランティア派遣事業

傾聴ボランティアグループ「うなずき愛」の運営支援を行う中で、個人宅の傾聴ボランティアには、社会福祉協議会が周知、本人説明、会への派遣依頼を行う。今年度は、新規1件増。個人宅訪問依頼数は2件延べ13回派遣訪問した。市内5カ所の施設（特別養護老人ホームひいらぎ・介護老人保健施設コスモス・宅老所ふれあい・宅幼老所笑びす・特別養護老人ホームそよかぜの杜）へのボランティア派遣は、傾聴ボランティアグループ「うなずき愛」が実施。派遣事業は、平成30年度からうなずき愛運営に代わる。

⑤ ボランティア活動の広域的な展開

杵島・武雄地区ボランティア連絡協議会との連携を強め、合同研修、相互扶助などにより活動内容をたかめる研さんができた。

⑥ 24時間テレビチャリティへの協力

毎年8月に実施される「24時間テレビ 愛は地球を救う」の放送日に合わせて、中学生高校生対象ボランティアスクール事業の一環として、市内1ヶ所にてチャリティ募金活動を実施した。集まった募金は24時間テレビチャリティ実行委員会へ送金した。

募金会場及び募金ボランティア従事者は次のとおりである。

実施日 平成30年8月26日（日）

募金総額 168,175円（前年度比45,569円減）

募 金 会 場	募金ボランティア人数
ゆめタウン武雄店	70名（前年度比50増）

【6】安心安全なまちづくり支援事業

住民が地域で安心・安全に生活するための課題解決に向けた取り組みを支援する事業で、昨年度申請された4地区へ助成金を交付した。

- ・沖永区（沖永公民館スロープ工事）200,000円
- ・南片白区（南片白自治公民館 階段手すり設置工事）178,000円
- ・永尾区（永尾公民館運動用フェンス取替工事）200,000円
- ・木の元区（木の元区自治公民館バリアフリー化スロープ設置工事）74,000円

【7】社会福祉大会の開催

地域福祉の推進と啓発を目的に、第12回武雄市社会福祉大会を開催した。また、福祉分野に貢献のあった9名及び2団体を表彰した。

期 日 平成31年1月19日（土） 10:00～12:10

場 所 武雄市文化会館 小ホール

講 演 長崎大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍科 医師 吉田 翔 先生
「難聴とは？ これからの未来へつなげよう」

【8】福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は47件であった。

【9】災害見舞い

平成30年度中に市内で被災した世帯は、火災世帯（全焼4件、半焼2件、床上浸水12件）であった。罹災世帯に対し、市社協、県共同募金会、日赤県支部よりそれぞれ見舞金品を届けた。

7. 共同募金運動

【1】赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会ほか、市民の皆様のご協力をいただき目標額を達成することができた。

募金種別	実績額 (円)
一般戸別募金	7,113,500
法人募金	710,000
街頭募金	55,861
資材募金	736,500
学校募金	44,608
イベント募金	93,520
個人募金	5,000
その他	4
総計	8,758,993 (前年度：8,700,774)

【2】歳末たすけあい運動

篤志募金(40,410円)と社協職員による街頭募金(25,173円)の総額65,583円(前年度：82,604円)に、社協繰出金をあわせ、市内の12施設に各25,000円、計300,000円を見舞金として贈呈した。

《施設名》 (福祉施設) シルバーケア武雄、くろかみ学園、すみよしの里、
(就労支援施設A型) ワークショップ道の家、野菜工房あんスリー武雄、
(就労支援施設B型) つくしのさと北方作業所、若楠、いぶき村、すずらん、
菜菜、LAUGHらふ
(地域活動支援センター) オアシスみふね

8. 赤十字活動

【1】会員増強運動

区長会・婦人会のご協力を得て、市内全戸に対し赤十字活動を支える会員としての呼びかけを行い、会員増強運動を実施した。

	会員数	納入額 (円)
会費 (1口 600円)	14,268 (前年度：14,347)	8,560,800 (前年度：8,608,350)

【2】講習会の開催

(1) 救急法講習会

世界赤十字デーの統一キャンペーン事業として、杵島・武雄地区分区合同で開催。

期日 平成30年6月24日(日) 10:00~12:00

場所 白岩体育館

対象者 社協役員、民児協、婦人会、一般

内容 「災害への備え」スライド、「災害を知ろう」講話、災害食作り、応急手当

参加者 51名

(2) 水上安全法講習会

夏場の水の事故防止に備え、学校の夏休みのプール監視員も対象に含めて開催。

期日 平成30年7月15日(日) 9:30~11:45

会場 山内中央公園スポーツセンター及びプール

対象者	一般並びに学校関係者
内 容	心肺蘇生、AED、溺れた人の救助法
参加者	54名